「気持ちのよい挨拶」

園長　布施　実

おはようございます　こんにちは　お久しぶりです　元気？　どうも！　ちわっす　おっす・・・・私達は様々な場面で多くの挨拶を交わしています。挨拶とは挨＝「押し開く」

拶＝「迫る」という意味があり、「心を開くことで関係を作り、お互い感謝しあうこと」と解釈できます。「おはようございます」の一言の中にも『私は元気でここにいます。それもこうやってあなたと挨拶を交わせるおかげです。有難うございます』という思いが詰まっていて、信頼関係構築への第一歩とも言えます。AI時代の到来で、将来ロボットをはじめとした人工知能が現在の職業をやり遂げてしまうと言われていますが、気持ちのこもった挨拶は、ロボットにはできない“人との心を繋ぐコミュニケーション”として、人生を送っていくための基礎となることだと思います。

会社を経営している友人から、採用面接で肝にしていることを聞いたことがあります。彼は、「細かい知識の有無より、挨拶と目と姿勢で採用を決める」と言っていました。大きな声で、相手を見て笑顔で挨拶ができるということは、人を大切にする気持ち、自分をオープンにする姿、積極性があると短時間でも判断でき、その判断結果はほぼ間違いないということでした。私も本当にそう思います。

園の教育目標は「明るい挨拶、元気な子」です。50年以上受け継がれ、いつまでも私達にとって必要、不可欠となる大切で素敵な目標です。園児の皆さんの一人一人と視線を合わせ、笑顔で挨拶を交わすとそれだけで最高に幸せな気持にさせてくれます。でもそれだけでなくこれから数年後、我が国を背負って立ち、世界中の人達とコミュニケーションをとりながら、活躍していく園児への願いを込め、この幼児期にこそしっかりとした挨拶を行う習慣を身につけさせたいです。そして、いくつになってもぶれない「しぐさ」にするためにも挨拶を大切にさせていきます。雨の日や急いでいるときは、きちんと止まって挨拶することができない時もありますが、しっかり止まり、姿勢を正して相手の目を見て元気よく挨拶をしましょう。大切なお子様の成長の第一歩となる明るい挨拶、ぜひともご家庭でも習慣づけてください。そして私達も、短時間でも互いに幸せにしてくれる最高の時間を大切にしていきましょう。